

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2018年3月15日～2018年3月21日)

平成 30 年(2018 年)3 月 23 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p><b>政治</b>                      野党「近代」、全国評議会を開催                      全国裁判所評議会(KRS)法修正案の取り下げ                      下院法務委員会、妊娠中絶厳格化法案への賛成意見を採択                      国防年次会合開催                      ゴテムエラーNATO副事務総長、ポーランド訪問                      ドイツのメルケル首相及びマース外相、ポーランドを訪問                      ポーランド・米軍の空軍共同訓練開催                      ポーランド政府、法の支配問題に関する欧州委の勧告に対する回答を送付                      チャプトヴィチ外相、年次外交政策方針演説</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p><b>治安等</b>                      公的機関に偽造ソフトウェアを納入していたビジネスマンの摘発                      警察、交通違反取り締まり用覆面車両140両を新たに配備                      警察、外国人窃盗団を摘発                      ポーランドのユダヤ教指導者、カトリック教会と協力して反ユダヤ主義に立ち向かうと主張                      政府、地方の道路整備支援に13億ズロチを計上                      無保険運転手による事故被害に関する統計                      国境警備隊、密入国あっせんグループ構成員を拘束                      人身売買組織の告発</p>								
<p><b>経済</b>                      企業別年金制度(PPK)法案に様々な反応                      ヴィルド・インフラ副大臣、中央空港関連の鉄道整備に EU からの資金協力の期待を表明                      2月の消費者物価指数                      2月の平均賃金                      2017年における国営精銅企業 KGHM の経営陣再編                      ウッチにおける2024年の園芸博覧会開催の可能性                      国営製油企業 LOTOS 社の社長解任                      原発建設に関する報道</p>								
<p><b>大使館からのお知らせ</b>                      長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意                      欧州でのテロ等に対する注意喚起                      「たびレジ」への登録のお願い                      パスポートダウンロード申請書の御案内                      平成30年度前期分教科書の配布に関する御案内                      大使館広報文化センター開館時間                      文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>在ポーランド日本国大使館                      ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 <a href="http://www.pl.emb-japan.go.jp">http://www.pl.emb-japan.go.jp</a></p>								

## 政 治

## 内 政

野党「近代」、全国評議会を開催【18日】

18日、野党「近代」(Nowoczesna)の全国評議会が開催され、ルブナウアー党首は党の方針及び政策に関する演説を行った。また同党首は、党内の結束の再建に向けた強い決意があるとし、本年の統一地方選挙における市民プラットフォーム(PO)との選挙協力は野党全体にとってチャンスである旨述べた。

全国裁判所評議会(KRS)法修正案の取り下げ【19日】

19日、与党「法と正義」(PiS)は、先週下院に提出した全国裁判所評議会(KRS)改正法の一部修正案の取り下げを発表し、マズレク報道官は、ゲルスド

ルフ最高裁長官が自身の義務を履行することを期待する旨発言した。本件に関し、13日にジョブロ法相は同長官に対してKRS初回会後の即時招集を要請し、15日、ゲルスドルフ長官は法律に則って義務を履行する旨述べたが、招集時期については明言しなかった。

下院法務委員会、妊娠中絶厳格化法案への賛成意見を採択【19日】

19日、下院法務・人権委員会は、市民提出の中絶厳格化法案「Stop Abortion」(胎児の重度障害を理由とする中絶の廃止を規定)に対する賛成意見を、賛成16票、反対9票で採択した。今後、同法案は下院社会政策・家族委員会にて審議される。

## 外交・安全保障

国防年次会合開催【14日】

14日、参謀本部において、国防年次会議が開催され、大統領、国防大臣、参謀総長等が参加した。記者会見において、ドゥダ大統領は、ロシア軍が、昨年ザパド17演習において、ポーランド及びバルト3国の地域でNATOと全面的な戦争に備える訓練を行う等訓練を充実させ、道路・鉄道等のインフラも整備し、軍を目標に直ちに指向できる即応態勢を整えていると述べた。また、ブワシュチャク国防大臣は、ポーランド軍が、ヴィスワ川の東に1個師団を新設する等部隊を東へ移転させる旨述べた。

ゴテモエラーNATO副事務総長、ポーランド訪問【15日】

15日、ゴテモエラーNATO副事務総長は、ポーランド北東部のベモヴォ・ピスキエを訪問し、ブワシュチャク国防大臣と欧州情勢、NATOのプレゼンス、NATOの体制改革等について意見交換するとともに、NATO大隊のポーランド展開1周年行事に参加し、NATO大隊の兵士を激励した。

ドイツのメルケル首相及びマース外相、ポーランドを訪問【16日・19日】

16日、ドイツのマース外相がワルシャワを訪問し、チャプトヴィチ外相の他、ドゥダ大統領及びモラヴィエツキ首相と会談した。19日には同国メルケル首相もワルシャワを訪問し、ドゥダ大統領及びモラヴィエツキ首相と欧州の問題、国際的な安全保障、両国関係について会談した。両者のポーランド訪問は、14日の第4次メルケル内閣発足後、フランスに次ぐ2か国目の外国訪問。ポーランド側は、新独政府の連立

合意において、ポーランド・独間のパートナーシップ強化及びフランスを含むワイマール三国協力の活性化への意志が示されたことに満足している旨表明し、メルケル首相は、ポーランドが地理的に異なる地域からの難民を受け入れ、移民問題の解決において「独自の貢献」を行っていることを初めて認めた。両国はさらに、英国でのスクリパル氏の毒殺未遂に関し、EUは断固たる対応を示すべきであり、欧州理事会後の結論文書にロシアの攻撃に関する内容が盛り込まれることを期待する点で一致した。

ポーランド・米軍の空軍共同訓練開催【19～28日】

19～28日、ポズナン空軍基地において、空軍兵士及び空挺隊員が参加する「航空分遣18-2訓練」が開催され、米軍80名、C-130が1機参加し、飛行訓練、空挺降下等を訓練した。

ポーランド政府、法の支配問題に関する欧州委の勧告に対する回答を送付【20日】

20日、ポーランド政府は、司法制度改革をめぐる法の支配問題に関し、欧州委による昨年12月20日付補足勧告に対する回答を送付した。同改革について外務省は、ポーランド司法府が長年直面し、司法府のみの取り組みではこれまで解決できなかった問題を防止する適切なメカニズムの保証を目的としており、全ての改革は司法府の機能を向上させると確信しているとの声明を発出した。

チャプトヴィチ外相、年次外交政策方針演説【21日】

21日、チャプトヴィチ外相が下院にて、恒例の年次外交政策方針演説を行った。同外相は、安全保障

がポーランド外交の最大の課題であるとし、ポーランド外交の置かれた国際環境の基本認識として、①ポーランドはEU、NATO加盟国であり、地域大国としての政策形成の責任がある、②EUは機構的、理念的、対外安全保障上の危機にある、③米軍部隊の展開とNATOはポーランドの安全保障の基本、④ロシアはポーランド独立の脅威、を挙げた。また、ドイツ

は最大のパートナーであり、フランスとは一層の関係拡大を指向するとし、対EU機関、EU諸国関係は安全保障と共に最も重要な分野であるとの考えを示した。さらに、欧州委によるEU条約第7条の制裁手続き開始は遺憾であり、ポーランドの裁判所制度改革等は法の支配、民主主義理念に反する点は全く無いが、欧州委との対話は継続する旨述べた。

## 治 安 等

### 公的機関に偽造ソフトウェアを納入していたビジネスマンの摘発【15日】

反汚職庁(CBA)ビャウストク支部は、公的機関に偽造ソフトウェアを納入していたビジネスマン3人を逮捕した。逮捕されたビジネスマンは、正規品と偽って議会、公立大学、地方政府等に安価な偽造ソフトウェアを納入し、差額を着服していた。同詐欺によって公的機関のコンピュータ3,256台に偽造ソフトウェアが組み込まれ、被害総額は約900万ズロチに及ぶ。

### 警察、交通違反取り締まり用覆面車両140両を新たに配備【16日】

警察は、交通違反取締用録画装置を装備したBMW社製覆面車両140両を新たに配備した旨発表した。警察は現在、約400両の覆面車両を運用しており、過去2年間に同車両を使用して約120万件の交通違反を摘発している。

### 警察、外国人窃盗団を摘発【19日】

19日、国家警察本部は、ドイツと国境を接するルベルスキエ県スウヴィツァにおいて、ジョージア人3人で構成される窃盗団を摘発した旨発表した。同グループは、標的の車両のタイヤを鋭利な刃物等でパンクさせ、パンクに気づいた標的がタイヤ交換を行う際の隙を見計らって車から携帯電話や貴重品等を盗難していた。同窃盗団メンバーには5年以下の禁錮が求刑される見込み。

### ポーランドのユダヤ教指導者、カトリック教会と協力して反ユダヤ主義に立ち向かうと主張

シュードリフ・チーフラビは、ガデツキ・ポーランド司教会議議長(ポズナン大司教)宛に公開書簡を發出し、司教会議が反ユダヤ主義を非難する声明を發出したことに謝意を示した上で、キリスト教徒とユダヤ教徒が協力して反ユダヤ主義に立ち向かっていくことが必要で、ユダヤ教指導者もユダヤ人が反ポーランド的とする嫌疑に対抗していくなどと主張した。

### 政府、地方の道路整備支援に13億ズロチを計上【20日】

20日、モラヴィエツキ首相は、地方の競争力底上げを目的に、道路整備支援費用として前年より5億ズロチ多い13億ズロチを計上すると発表した。道路整備計画の監督は、各県知事に委任される。

### 無保険運転手による事故被害に関する統計【20日】

保険補償基金(UFG)によれば、2017年中、ポーランド国内で車両損傷に対する保険使用申請は7,900件あり、このうち5,300件が保険の補償対象と認定された。これら補償対象のうち、8割は無保険運転手が絡む事案で、保険支払い総額は、2016年より3,360万ズロチ多い1億9,560万ズロチとなった。

### 国境警備隊、密入国あっせんグループ構成員を拘束【20日】

20日、国境警備隊はマゾヴィエツキエ県で密入国あっせんグループに属するポーランド人3人を拘束した。同グループは主にポーランド人及びロシア人で構成され、2014年2月から2016年10月にかけてポーランド、ロシア、バルト3国、ドイツ、フランス、オランダ、オーストリア等で活動し、チェチェン系ロシア人やベトナム人の不法越境をあっせんしていた。これまでに同グループのメンバー15人が拘束されており、国境警備隊が追加捜査を進めている。

### 人身売買組織の告発【22日】

22日、ポズナン地方裁判所は、ポーランドから西欧諸国へのベトナム人の人身売買に関与した犯罪組織に対する公訴を受理した。同組織のリーダーは、ワルシャワ在住の30歳のベトナム系ポーランド人で10年以下の禁錮が求刑される見込み。

## 経 済

## 経済政策

企業別年金制度 (PPK) 法案に様々な反応【20-21日】

企業別年金制度 (PPK) 法案に対し、雇用主や労働組合、ポーランド金融監督局 (KNF)、ポーランド中央銀行のみならず、各省庁からも懸念が示されるなど、様々な反応が寄せられている。例えば、政府案では従業員250名以上の企業を対象に2019年始めから導入する計画となっているが、インフラ省は準備期間が短すぎるとして計画の2020年7月までの延期を求めているほか、ポーランド投資基金 (PFR) は PPK のインターネット・ポータル の設置には法案の成立から最低6か月を要すると主張する。また、費用面についての懸念も示されており、エネルギー省は石炭鉱業部門に1.1億ズロチの追加負担が、科学・高等技術省は公立の高等教育機関は2020年に4,618万ズロチ、2021年に9,235万ズロチの経費負担が生じると見積もっている。

ポーランド中央銀行は、加入者の関心への配慮が不十分であるほか、制度全体の効率的な運用が確保されていないと指摘する。エミレヴィチ財務大臣は、PPK 導入は断固として進めるとしつつ、様々な提案に門戸を開いており、消極的な意見についても分析を進めると報道陣に語った。

ヴィルド・インフラ副大臣、中央空港関連の鉄道整備に EU からの資金協力の期待を表明【21日】

ヴィルド・インフラ副大臣は、中央空港建設計画に含まれる鉄道整備に関し、EU による共同出資への期待を示した。なお、同副大臣は、中央空港建設自体については EU からの資金手当は見込んでいないと述べた。中央空港建設計画の総事業費は310~350億ズロチで、空港建設に200億ズロチ、鉄道整備に80~90億ズロチ、道路整備に20~70億ズロチを見積もっている。

## マクロ経済動向・統計

2月の消費者物価指数【15日】

中央統計局 (GUS) によれば、2月の消費者物価指数 (CPI) は対前年同月比1.4%増、対前月比0.2%減となり、多くの経済専門家の当初予測よりも低い数値に留まった。

2月の平均賃金【16日】

中央統計局によると、2月の平均賃金は4,599.72ズロチと前年同月比6.8%増となった(前月比0.2%増)。

## ポーランド産業動向

2017年における国営精銅企業 KGHM の経営陣再編【19日~21日】

国営精銅企業 KGHM 社の経営陣再編について、①「法と正義」(PiS) 党員と地方自治体との間での権限争い、②多額の海外投資費用が未回収(2010年以降で9.5億ズロチが未回収)で、チリ・シエラゴルダ鉱山 (KGHM 社の株保有55%) についても利益幅が小さく、カナダ Ajax 鉱山については未だプロジェクトが開始されないなど海外事業に関する問題が存在、③国内鉱山経営の採算が不十分で、環境問題で農家・住民から抗議が発生、が理由と

報道された。

ウッチにおける2024年の園芸博覧会開催の可能性【20日】

ロシツキ・ウッチ副市長は、メルボルンで国際園芸生産者協会 (AIPH) から2024年における園芸博覧会の開催証書を受領した。同博覧会は2019年に北京、2022年にオランダで開催予定。今後、BIE 事務局の開催許可が得られれば、自然都市をテーマとした園芸博覧会が開催可能となる。

## エネルギー・環境

国営製油企業 LOTOS 社の社長解任【20日】

国営製油企業 LOTOS 社の取締役会は、ヤストシェンプスキ社長を解任した。解任理由は発表されていないが、取締役会報告で、同社長は同社と国営製油企業 Orlen 社との企業統合を承認していなかった。

原発建設に関する報道【22日】

先週、トフジェフスキ・エネルギー大臣が、国内原発3基(4.5~5GW)を段階的に建設する見通しを示したが、候補地の選定や企業による資金調達モデル等の問題が指摘されている。技術選定につ

いては、仏・露については安全保障上の問題等のため対象外で、米国、日本、韓国のいずれかで選

定される見込みとの報道があった。

## 大使館からのお知らせ

### 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

[http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/oshirase\\_schengen\\_2.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html)

### 欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、2017年もスペイン・フランス等で新たなテロが発生しており、今年も引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### 「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

### パスポートダウンロード申請書の御案内

2017年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

**平成30年度前期分教科書の配布に関する御案内**

在ポーランド日本国大使館では、ポーランド在住で平成29年9月末日までに大使館に「在留届」を提出している邦人子女を対象に、日本の小学生、中学生用の教科書(平成30年度 前期分)を配布しています。御希望の方は『教科書申込書』を入手の上、該当事項を記入して、下記の申込先に送付してください。ワルシャワ日本人学校の児童、生徒(入学予定者を含む)については、同校を通じて配布いたしますので、申し込みの必要はありません。なお、教科書自体は無償ですが、郵送による受取りを希望される方については、大使館(ワルシャワ市)から「着払い」にて送付するため送料が発生します。あらかじめ御了承ください。

教科書申込書のリンク:<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho30.1semester.pdf>

申込先: cons@wr.mofa.go.jp (Eメールの場合)

22-696-5006 (FAXの場合)

ul. Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa (郵送の場合)

**【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584-73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

## 文化行事・大使館関連行事

**【開催中】 展示「日本の浮世絵と新版画」【3月1日(木)～3月30日(金)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、ワルシャワ国立博物館上級学芸員マレシコ氏及びクシシュトフ・クル氏による浮世絵と新版画の展示が開催中です。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51 (4階), Warszawa)

**【開催中】 日本人形展: 魔法・民族・神話 【3月3日(土)～6月3日(日)】**

グダンスク市にて、グダンスク国立博物館民族誌部主催による『日本人形展: 魔法・民族・神話』が開催されます。日本人形、ひな人形、こけし、だるまなどが展示中です。

開催場所: グダンスク市 (ポモージェ県), グダンスク国立博物館民族誌部, ul. Cystersów 19

詳細: <https://www.facebook.com/MuzeumNarodoweGdansk/>

**【予定】 第14回世界伝統空手連盟空手選手権大会「ローニンカップ」【3月24日(土)】**

ドンブロヴァ・グルニチャ市にて、学生スポーツクラブ「ローニン」主催による『第14回世界伝統空手連盟空手選手権大会「ローニンカップ」』が開催されます。

開催場所: ドンブロヴァ・グルニチャ市 (シロンスク県), 「セントラム」スポーツホール, ul. Aleja Róż 3

詳細: <http://www.ronin.pl>

**【予定】 ウッジ国際ユース杯 2018 【3月24日(土)～25日(日)】**

ウッジにて、サッカー選手権大会「U17 International Youth Cup」が開催されます。広島県の高校選抜選手によるチームが参加し、ポーランドや周辺諸国のチームと対戦します。

開催場所: ウッジ市 (ウッジ県), ul. Milionowa 12

詳細: <http://www.smslodz.pl/>

**【予定】 第3回マルキ市国際柔道選手権「サメジウドウカップ」【3月24日(土)～25日(日)】**

マルキ市にて、学生スポーツクラブ「サメ柔道」主催による『第3回マルキ市国際柔道選手権「サメジウドウカップ」』が開催されます。

開催場所: マルキ市 (マゾフシエ県), ul. Duża 3

詳細: <http://www.samejudo.pl/>

**【予定】第7回ドルノシロンスク数独選手権 大会【3月25日(日)】**

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ工業大学主催による『第7回ドルノシロンスク数独選手権大会』が開催されます。

開催場所: ヴロツワフ市 (ドルノシロンスキエ県), Centrum Kongresowe Politechniki Wrocławskiej, ul.

Wyrbrzeże Wyspiańskiego 27

詳細: <http://sudoku.pwr.edu.pl/edycja-2018>

**【予定】書道ワークショップ「たのしやかな文字を書こう!」【4月4日(水)14:00~】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、墨乃会による書道ワークショップを行います。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, 住所: Al. Ujazdowskie 51 (4階), Warszawa)

参加申込: [shimono@human-smart.com](mailto:shimono@human-smart.com)

**【予定】展示会:「文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び」【4月7日(土)~6月30日(土)】**

ワルシャワ市にて、アジア太平洋博物館主催による展示会『文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び』が開催されます。お手玉、けん玉、竹とんぼ、あやとり、手まり、こま、将棋などが展示されます。

開催場所: ワルシャワ市, アジア太平洋博物館, ul. Solec 24

詳細: <http://www.muzeumazji.pl/>

**【予定】ポフシン植物園の日本月間【4月8日(日)~5月5日(日)】**

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター主催による『ポフシン植物園の日本月間』が開催されます。日本の自然に関する様々な写真展、観賞用鶏の展示会、折り紙・書道ワークショップ等が予定されています。チケット: 10~12 PLN。

開催場所: ワルシャワ市 (マゾフシエ県), ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター, ul. Prawdziwka 2

詳細: <http://www.ogrod-powsin.pl/o-nas/kalendarz/miesiac-japonski-w-ogrodzie-botanicznym-w-powsinie>

**【予定】「日本の隠れた名所」観光セミナー【4月9日(月)18:00~】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、日本を自転車で観光したポーランド人柔道家による体験談と観光スポットなどの紹介を行います(ポーランド語のみ)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, 住所: Al. Ujazdowskie 51 (4階), Warszawa)

参加申込: [info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)

**【予定】第8回松涛館空手連盟欧州選手権大会【4月13日(金)】**

ドンブロヴァ・グルニチャ市にて、学生スポーツクラブ「ローニン」主催による『第8回松涛館空手連盟欧州選手権大会』が開催されます。

開催場所: ドンブロヴァ・グルニチャ市 (シロンスク県), 「セントラム」スポーツホール, ul. Aleja Róż 3

詳細: <http://www.ronin.pl>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス([newsmail@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmail@wr.mofa.go.jp))